

KYOTO
TACHIBANA
FACT BOOK
2026



変化を楽しむ人であれ

京都橘学園

KYOTO TACHIBANA FACT BOOK 2026

CONTENTS

理事長メッセージ	01
数字で見る京都橘学園	02
京都橘学園のあゆみ	04
京都橘学園のマスタープラン	06
京都橘大学の教育	07
京都橘大学の教育・サポート	08
京都橘大学のキャンパス・施設・設備	10
京都橘大学の課外活動	11
京都橘大学の研究推進	12
京都橘大学の社会連携活動	14
京都橘中学校・高等学校の教育	16
京都橘中学校・高等学校のクラブ活動	17
たちばな大路こども園の教育・保育	18
たちばな大路こども園の特色ある取り組み	19
京都橘学園機構図	20
京都橘学園のトピックス	21

時代と共に、変化し、成長し続ける。 『学びで世界を変える』学園をめざして。

学校法人京都橘学園は、2027年に学園創立125周年・大学開学60周年を迎えます。

創立以来、人と社会に尽くす自立した人材の育成を掲げ、時代に、社会に、人々の学ぶ意志に応える改革を重ねてきました。現在では、大学・大学院、中学校・高等学校、こども園に、約10,000名の学生・生徒・園児が集う総合学園へと成長しています。地域・企業の皆さまやご家族、卒業生の皆さまには、日頃より本学園の教育研究活動への深いご理解と温かいご支援を賜り、学園関係者一同たいへん勇気づけられております。

本学園に心を寄せてくださる皆さまに深く感謝申し上げます。

京都橘大学は1967年に文学部単科の女子大学として開学。2005年の男女共学化、大学名の改称、京都の私立大学として初の看護学部設置を皮切りに医療系学部を拡充し、西日本最大級規模の医療系分野を有する総合大学となりました。2021年にはAI時代の社会の要請に応える工学部、経済学部、経営学部を同時に開設、2023年には現代社会に不可欠となるデータサイエンスの基礎を全員が学ぶ総合心理学部が誕生しました。文理横断の新たな学びの環境を充実させて「総合知」を涵養しています。2026年春には、新たにデジタルメディア学部、工学部にロボティクス学科、健康科学部に臨床工学科を開設、新棟アカデミックテラスも整備し、AI・情報・医療の一大教育研究拠点として進化を続けています。「自立・共生・臨床の知」の教学理念のもと、単一キャンパスに10学部が揃う総合大学の特色を生かし、予測困難な時代に学生が自信を持って選んだ道を歩めるよう、一人ひとりの成長を支援する教育に尽力しています。併せて社会課題の解決を図る研究や地域連携活動にも力を入れているところです。

京都橘中学校・高等学校は、「自立・共生」を教育理念に掲げ、常に先進的な教育を取り入れることにより、高い実績を確立しています。難関大学への進学実績は飛躍

的に向上し、クラブ活動においても女子バレーボールや男子サッカー、陸上競技、吹奏楽、太鼓など、全国レベルの成果を生み出しています。2026年には、本校の新たなシンボルとなる新校舎が完成しました。自習室や音楽・書道・美術教室、吹奏楽部がマーチング練習を行える多目的ホールを設置するなど、生徒の挑戦と表現力を支える環境が整いました。時代を切り拓くしなやかな知性と生きる力を育んでまいります。

たちばな大路こども園は、地域や自治体の皆さまの多大なるご協力のもと、まもなく10周年という大きな節目を迎えます。教育・保育理念に掲げる「自立・共生」のもと、自然、あそび、仲間を大切にしながら様々な経験を通して、「生きる力」の土台をつくり、園児たちが心も体もしなやかにたくましく成長することをめざしています。

本学園は、2023年度より新たな社会価値の創造をめざして、第3次マスタープラン(中期事業計画)を策定し、改革を進めています。時代や社会が大きく変化しているからこそ、本学園で培われる総合知により、これまでにない価値を生み出すことが求められています。自身や世界を変えるような新たな学びの環境の創出に向け、「学びで世界を変える」を合言葉に構成員一丸となって挑戦を続けてまいります。また、学園と地域社会が一体となるような産官学連携の教育研究や心身の健康と人とのつながりを生み出す交流を通じて、地域全体のWell-Being実現へ貢献していく所存です。

これまで学校法人京都橘学園は、学生・生徒・園児、保護者、教職員、近隣自治体や関係企業・団体の方々、数多くの卒業生によって支えられ発展してきました。改めてご支援に対し厚く御礼申し上げますとともに、引き続き本学園に対する格別のご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2026年8月

学校法人京都橘学園 理事長 片山 傳生



学校法人京都橘学園 理事長
片山 傳生



京都橘大学 学長
岡田 知弘



京都橘中学校・高等学校 校長
安田 文彦

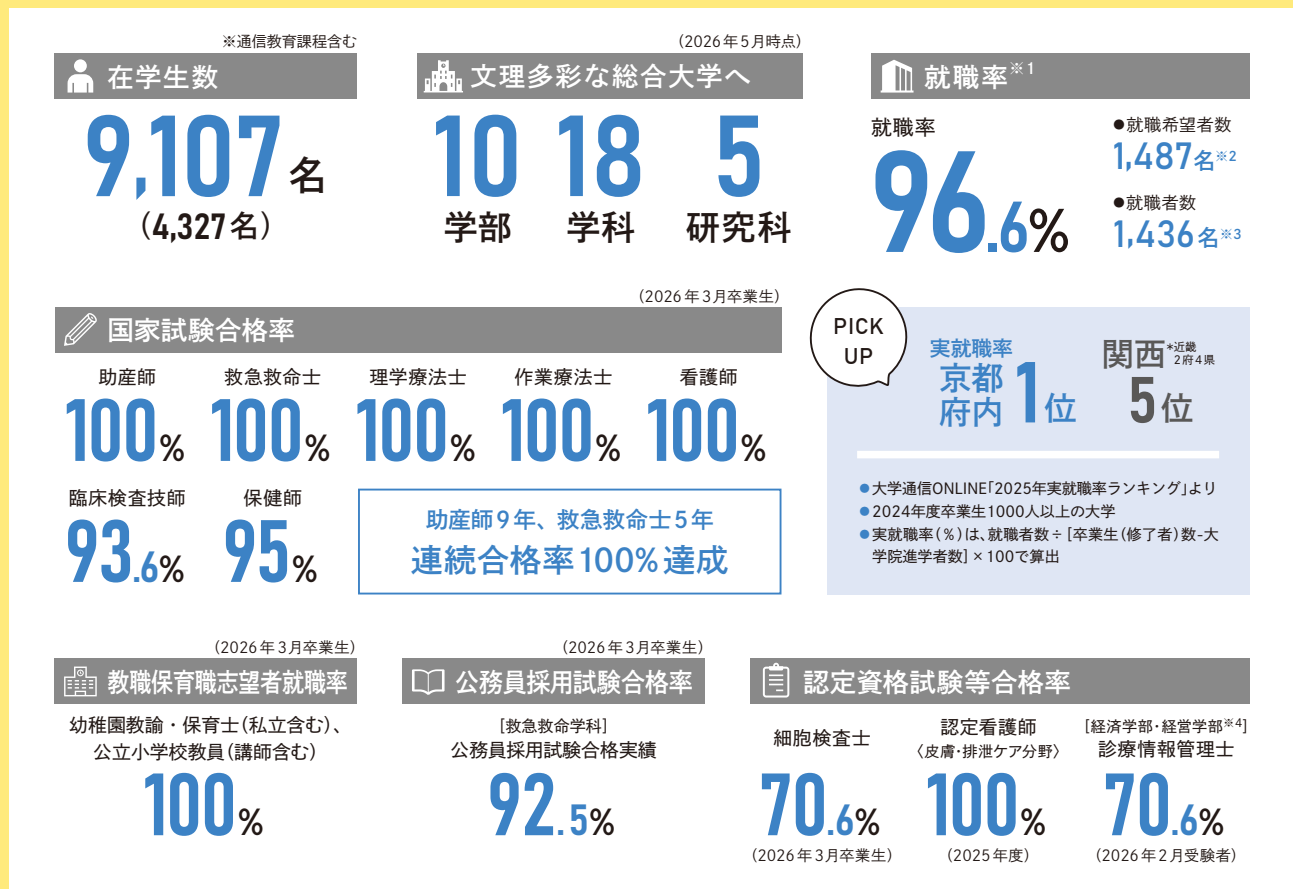


たちばな大路こども園 園長
河口 智津子

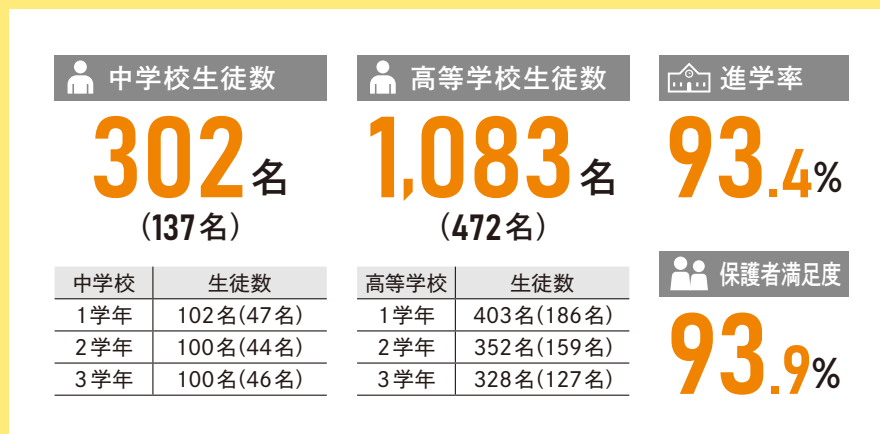
TACHIBANA IN NUMBERS

数字で見る京都橘学園 (2026年5月1日現在)

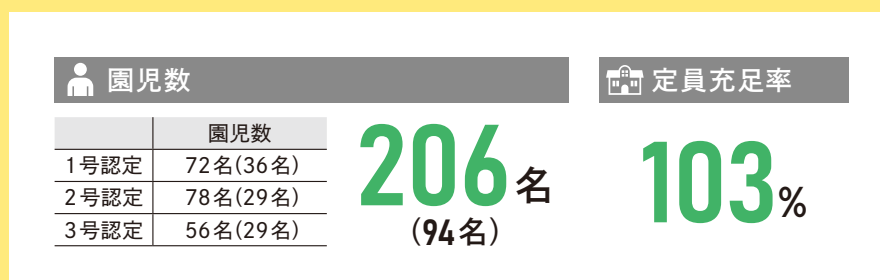
京都橘大学・大学院 ()は男子内数



京都橘中学校・高等学校 ()は男子内数



たちばな大路こども園 ()は男子内数



※1 調査時点…2026/5/1

※2 就職希望者の定義…民間企業もしくは公務員等の進路希望届を提出した者の数(進学、自営業、家事手伝い、留年、資格取得希望者は含まず)

※3 就職者(内定者)の定義…卒業時提出の進路登録票に正規職員と記入した者(常勤講師、1年以上の非常勤講師として採用された者を含む)の数。進路登録票未提出者、契約期間1年未満の非常勤職員、非常勤講師、アルバイト、パート等の非正規は含まれません。

※4 経営学部生は一部の科目を随意科目(要卒単位外)として履修することになります。

京都橘学園の基礎データ ()は男子内数

京都橘大学・大学院

京都橘大学

学部	在籍者数
デジタルメディア学部	107名(70名)
工学部	936名(704名)
文学部	1,088名(539名)
国際学部*	513名(225名)
発達教育学部	599名(115名)
総合心理学部	398名(124名)
現代ビジネス学部	2名(2名)
経済学部	1,061名(769名)
経営学部	1,145名(772名)
看護学部	409名(33名)
健康科学部	1,030名(462名)
計	7,288名(3,815名)

※2027年4月に国際英語学部から名称変更

京都橘大学大学院

研究科	在籍者数
文学研究科	13名(5名)
現代ビジネス研究科	5名(3名)
情報学研究科	45名(34名)
看護学研究科	21名(4名)
健康科学研究科	64名(37名)
計	148名(83名)

通信教育課程

学部	在籍者数
健康科学部心理学科 ※2022年度まで	481名(106名)
総合心理学部総合心理学科	1,110名(279名)
デジタルメディア学部デジタルメディア学科	80名(44名)
計	1,671名(429名)

2026年度入試における学部別志願・合格状況

学部	志願者数	合格者数
デジタルメディア学部	2,332名	576名
工学部	3,696名	1,753名
文学部	5,312名	2,400名
国際英語学部	3,088名	1,497名
発達教育学部	1,477名	676名
総合心理学部	2,704名	617名
経済学部	8,256名	2,171名
経営学部	6,331名	1,521名
看護学部	2,160名	539名
健康科学部	5,776名	1,892名
計	41,132名	13,642名

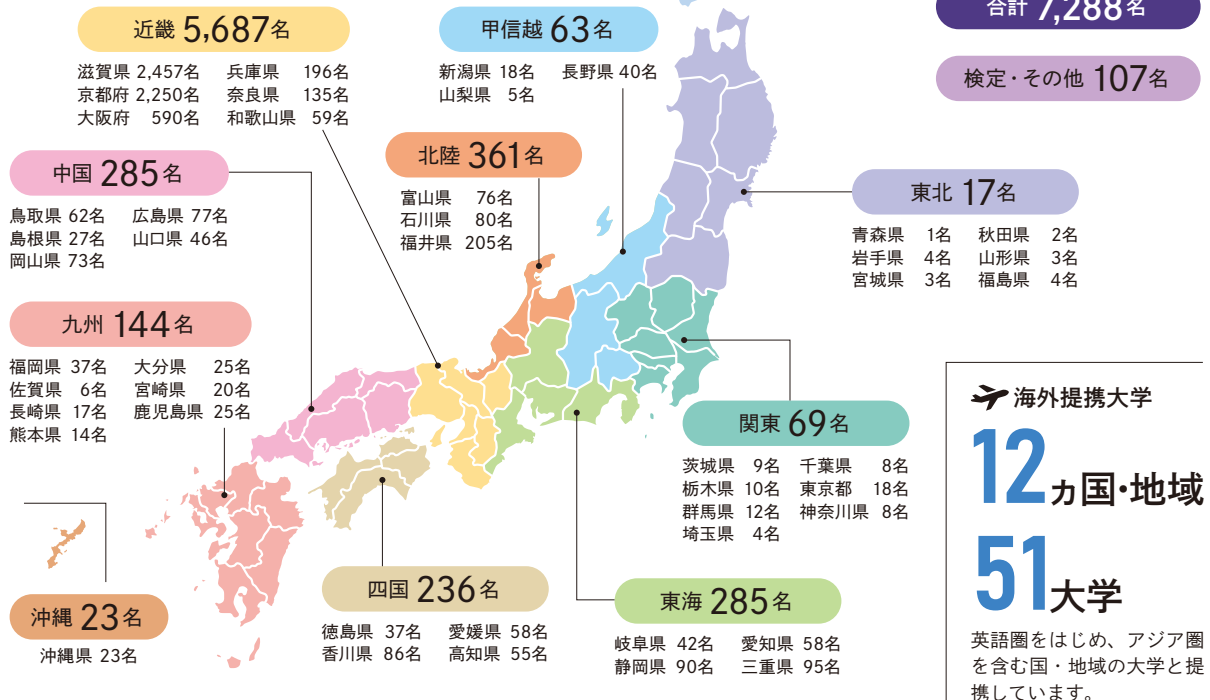
教員数

教授	135名(110名)
准教授	61名(39名)
講師・助教	77名(41名)
助手	6名(2名)

職員数

専任職員	174名(84名)
臨時職員	46名(10名)

卒業生数合計(2026年3月/総数)
30,160名



HISTORY

京都橘学園のあゆみ



【創立者】
なかもり たけお
中森 孟夫(1868年～1946年)

1868(明治元)年
滋賀県蒲生郡(現・日野町)の農家に生まれる。

1890(明治23)年
泰西簿記学校を設立。その後、京都高等学院などを設立。

1902(明治35)年
京都橘学園の前身となる京都女子手藝学校を京都市内に設立。

1909(明治42)年
同校校長辞任。

1913(大正2)年～1919(大正8)年
ハワイ、ホノルルの日本人学校などで教鞭をとる。

創立者 中森孟夫と京都橘学園

建学の精神

「力を実業教育に注ぎて、将来自営独立の実力を得しめん」

京都橘大学と京都橘中学校・高等学校の前身は「京都女子手藝学校」(1902年設立)です。創立者である中森孟夫は、青年時代、小学校で教鞭をとる傍ら、村の青年を集めて夜学を開き読み書きを教えました。この経験の中で中森は若者への教育の大切さに思い至りました。そして、17歳で京都に遊学し、当時、近代化にとって不可欠な知識だった簿記を教える「泰西簿記学校」を23歳で設立。その後、女性が経済的にも精神的にも自立(自営独立)することの重要性を認識し、「女子のための実業教育(技芸教育)の学校」として「京都女子手藝学校」を創設しました。同校は実学教育に力を注ぎ、裁縫や刺繍などの技術を教授するほか、小学校教員の養成にも取り組みました。後に中森は同校を離れますが、場所や

校種は変えつつも生涯を通して学校教育に力を注ぎました。

中森は一貫して「変化の激しい時代においてこそ、自営独立するためにも知識と技能を修得することが大事である」と考えました。また、「学習者の自然と湧き出てくる要求に応えることが私の使命である」とも考え、生涯教育に情熱を注ぎ、多くの学校設立に取り組みました。

京都橘学園の建学の精神である〈力を実業教育に注ぎて、将来自営独立の実力を得しめん〉には、こうした中森の想いが端的に表れています。

本学園の教育内容は中森の時代から現代に至るまで大きな発展を遂げました。しかし、「生徒学生に自立して生きる力を付けたい」という想いは、今日まで変わることなく脈々と引き継がれています。

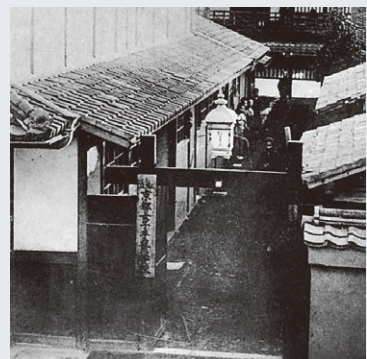
ORIGIN

名称の由来

「橘」という名は、日本固有の柑橘樹に由来します。みずみずしい常緑の葉と「ときじくのかくのこのみ」とも称される黄金の実はいにしえより繁栄や長寿の象徴として尊ばれています。前身の京都女子手藝学校の所在地が京都御所の西に位置し、紫宸殿の前庭に植えられていた「左近の桜、右近の橘」から名づけられました。

学園発祥の地

京都橘学園発祥の地は、京都市上京区中立売の京都ブライトンホテルのあるところです。京都女子手藝学校が戦後に京都橘女子高等学校(現・京都橘中学校・高等学校)となり、1985年に京都市伏見区桃山に移転。京都橘大学は1967年、京都市山科区に開学しました。



創立当時の京都女子手藝学校

●：学園 ●：大学 ●：中学校・高等学校 ●：こども園

1902年	明治35年	●中森孟夫により京都女子手藝学校として京都市上京区に創立
1904年	明治37年	●「女子大学設立予備」の目的をもって高等文学部を開設
1908年	明治41年	●財団法人として文部大臣より認可
1910年	明治43年	●京都高等手藝女学校に改称
1948年	昭和23年	●新制高等学校として認可／校名：京都手藝高等学校
1951年	昭和26年	●私立学校法制定により財団法人を学校法人京都たちばな女子学園に組織変更
1957年	昭和32年	●校名を京都橘女子高等学校に改称
1967年	昭和42年	●学校法人京都橘女子学園に改称 ●京都市東山区(現山科区)に橘女子大学開学／高田三郎が初代学長に就任
1974年	昭和49年	●新村猛が第2代学長に就任
1978年	昭和53年	●長廣敏雄が第3代学長に就任
1980年	昭和55年	●細野武男が第4代学長に就任
1985年	昭和60年	●伏見区桃山に高等学校を移転
1988年	昭和63年	●大学名を京都橘女子大学に改称
1989年	昭和64年 平成元年	●越智武臣が第5代学長に就任
1991年	平成3年	●文系大学進学コースを設置
1992年	平成4年	●千地万造が第6代学長に就任 ●女性歴史文化研究所開設 ●外国語教育研究センター開設
1993年	平成5年	●「清心館」完成
1994年	平成6年	●大学院歴史学専攻設置
1995年	平成7年	●門脇禎二が第7代学長に就任 ●総合進学(A)コース、特別進学(B)コースに改編
1996年	平成8年	●大学院文学文化専攻設置 ●国際教育(C)コース設置
1997年	平成9年	●文化財学科設置 ●「清史館」完成
1999年	平成11年	●大学院歴史学専攻(博士後期課程)設置
2000年	平成12年	●大南正瑛が第8代学長に就任 ●文化政策研究センター開設 ●特別進学(B)コースの男女共学化 ●校名を京都橘高等学校に改称 ●木内正廣が校長に就任
2001年	平成13年	●文化政策学部設置 ●「清風館」完成 ●リエゾンオフィス設置
2003年	平成15年	●山岸永一が理事長に就任 ●大学院文化政策学研究科(博士前期・後期課程)設置 ●全コース男女共学化 ●国際教育(C)コース、全員1年留学プログラム実施
2004年	平成16年	●田端泰子が第9代学長に就任
2005年	平成17年	●学園名を京都橘学園に改称 ●大学名を京都橘大学に改称 ●男女共学化 ●看護学部設置 ●文化政策学部現代マネジメント学科設置 ●看護実践異文化国際研究センター開設 ●言語教育センター開設 ●「清優館」「清香館」完成
2006年	平成18年	●看護教育研修センター開設
2007年	平成19年	●梅本裕が理事長に就任 ●文学部に児童教育学科設置 ●「児優館」完成 ●教育保育支援センター開設 ●認定看護師教育課程(WOC看護分野)開講
2008年	平成20年	●現代ビジネス学部設置(文化政策学部を名称変更) ●現代ビジネス学部都市環境デザイン学科設置(文化政策学科を改組) ●大学院看護学研究科設置 ●「クラブハウス」「クリスタルカフェ」完成

2009年	平成21年	●教職保育職支援室開設 ●総合進学(A)・英数特進(B)・国公立特進(S)の3コースに再編
2010年	平成22年	●青木圭介が第10代学長に就任 ●人間発達学部設置 ●稲吉陽作が校長に就任 ●伏見区桃山(高校敷地内)に京都橘中学校 国公立大学進学中高一貫(V)コース開校
2011年	平成23年	●総合教育センター開設
2012年	平成24年	●健康科学部設置 ●健康科学部心理学科に通信教育課程設置 ●文学部に歴史遺産学科設置(文化財学科を名称変更) ●総合学術推進機構開設 ●「優心館」「中央体育館」完成
2013年	平成25年	●細川涼一が第11代学長に就任 ●心理臨床センター開設
2014年	平成26年	●大学院看護学研究科に博士後期課程設置 ●三輪欣之が校長に就任
2015年	平成27年	●現代ビジネス学部経営学科設置(現代マネジメント学科を改組) ●学生コミュニティ施設・研究室棟「響友館」完成
2016年	平成28年	●健康科学部に救急救命学科設置 ●大学院健康科学研究科設置 ●理学療法教育研修センター開設 ●国公立大学進学中高一貫(V)・国公立特進(S)・特別進学(E)・総合進学(A)の4コースに再編
2017年	平成29年	●国際英語学部、発達教育学部設置(人間発達学部を改組) ●大学院文学研究科歴史文化専攻設置(2専攻を改組) ●大学院現代ビジネス研究科設置(文化政策学研究科博士前期課程を改組)
2018年	平成30年	●健康科学部に作業療法学科・臨床検査学科設置 ●新教室棟「啓成館」完成 ●幼保連携型認定こども園 たちばな大路こども園開設／奥羽恵子が園長に就任
2019年	平成31年 令和元年	●大学院現代ビジネス研究科に博士後期課程設置 ●日比野英子が第12代学長に就任 ●生命健康科学研究センター開設 ●難波和子が園長に就任
2020年	令和2年	●安田文彦が校長に就任
2021年	令和3年	●経済学部経済学科設置 ●経営学部経営学科設置 ●工学部情報工学科・建築デザイン学科設置 ●大学院健康科学研究科に博士後期課程設置 ●新教室棟「アカデミックリンクス」完成 ●新教室棟「mican」完成
2022年	令和4年	●「KYOTO TACHIBANA スタジアム」完成
2023年	令和5年	●片山傳生が理事長に就任 ●総合心理学部総合心理学科設置 ●教職保育職支援センター開設 ●情報学教育研究センター開設 ●選抜類型、総合類型の2類型に再編 ●河口智津子が園長に就任
2024年	令和6年	●大学院情報学研究科情報学専攻設置 ●「iCS研究デザインスタジオ」「図書館書庫棟」完成
2025年	令和7年	●岡田知弘が第13代学長に就任 ●文学部日本語日本文学科に国際日本文化コースを設置 ●経営学部経営学科にスポーツ経営学専攻を設置
2026年	令和8年	●「たちばな訪問看護ステーション」開設 ●デジタルメディア学部デジタルメディア学科(通学課程・通信教育課程)設置 ●工学部ロボティクス学科設置 ●健康科学部臨床工学科設置 ●「アカデミックテラス」完成 ●国際英語学部をグローバルスタディーズ専攻と国際共生専攻の2専攻制に再編 ●経済学部を経済学専攻と現代社会専攻の2専攻制に再編 ●「新棟南館」完成

MASTER PLAN

学びで世界を変える 一京都橘学園が創る新しい社会価値一

京都橘学園では、変化し続ける時代のなかで、未来への道筋を描く羅針盤としてマスタープランを策定しています。2023年度からの第3次マスタープランでは、「学びで世界を変える」をスローガンに掲げ、既成概念にとらわれない挑戦と改革を推進しています。未来を担う人材の育成と新たな価値の創造に向け、さらなる挑戦を続けてまいります。

「よりよい学びや経験を提供し、学生・生徒・園児等が触れる世界を変える」

「これまでにない新たな価値を創造し、人々が住む世界をより良く変える」

社会価値創造の方向性

第3次マスタープランでは、以下の3つの方向性で新しい社会価値の創造をめざします。

情報学教育の充実／総合知の涵養

文系理系の垣根を越えた教育研究や通信・メディア教育の充実を通して、より多くの人々に良質な教育を届ける。

医工連携強化

学園の強みである医療と工学を発展させ、地域社会の健康増進やより良い医療の提供に貢献する。

教育創造

前例に捉われないアプローチで、教育環境・内容・方法の転換に取り組み、社会に新たな学びの形を示す。

MASTER PLAN 2027

京都橘学園中期重点計画

※計画内容はすべて予定であり変更することがあります

マスタープラン
特設サイト



社会とつながり、未来をつくる 一新たな価値創造への歩み一

01 工学研究科^{*}を基軸に AI時代の社会課題へ挑む

情報学の高度化に向けて、工学研究科^{*}を新設し、AI・IT分野の専門家を育成します。さらに情報学教育研究センターを設置。社会人を対象に情報学と他分野を横断した実践的な教育プログラムを展開し、AI時代における社会課題の解決をめざします。

※仮称、2027年4月に情報学研究科から名称変更予定

02 メディア/アート・通信教育を起点とした新たな教育展開と地域創造へ

メタバースやeスポーツ、デジタルアートなどへの注目が集まるなかで、デジタルアート・メディア分野におけるクリエイターやエンジニアを育成するデジタルメディア学部を新設。さらに同学科では通信教育課程を設け、社会人向けの教育と地域社会への展開をめざします。

03 人々の健康促進・ 地域社会医療充実に貢献

工学・医療分野の学びの充実に向け、ロボティクス学科、臨床工学科を新設。工学系、看護・医療系の学部間連携を強化し、各分野からIT技術を活用できる技術者・専門家を育成します。さらに、スポーツ分野の充実や健康医療施設の検討など、地域社会への展開にも取り組みます。

04 社会へ開かれた 新たな教育保育の提案

「たちばな教養学校 Ukon」の開講や全学的な教養教育の改革、図書館のリニューアルなど、学びの質的転換に取り組みます。また、リカレント教育やエクステンション教育を拡充し、より広く本学園の教育を社会に届けることをめざします。

05 世界と協働できる人材を育成

海外大学との多角的な連携を実現し、多様な留学生との交流を生み出せるように国際化をめざします。通信教育も活用しながら、学生のグローバルな感覚を培い、海外を舞台に活躍できる素養を育みます。

06 成長し続ける 組織の構築・文化の醸成

学校法人としての盤石な基盤を確立するため、ガバナンス体制の強化に取り組みます。また、変化し続けていける組織文化を大切に、人材育成、業務のDX化などを推進します。学園構成員が教育研究活動を通して新しい文化を生み出す土壌をつくります。

MASTER PLAN 2023-2026 主なトピックス

●：学園 ●：大学 ●：中学校・高等学校

2023年度

- 情報学教育研究センターを開設
- たちばな教養学校 Ukonを開講
- 総合心理学部を設置

2024年度

- 情報学研究科修士課程設置
- 図書館リニューアル
- 強化クラブの拡充

2025年度

- 文学部日本語日本文学科国際日本文化コース開設・収容定員増
- 経営学部経営学科スポーツ経営学専攻開設
- 新しい全学共通教育を開始
- 父母・校友支援室を開設

2026年度

- デジタルメディア学部デジタルメディア学科(通学課程・通信教育課程)を設置
- 工学部ロボティクス学科を設置
- 健康科学部臨床工学科を設置
- 国際学部国際学科^{*1}グローバルスタディーズ専攻・国際共生専攻を開設
- 経済学部経済学科現代社会専攻を開設

- 工学部建築デザイン学科のカリキュラムを改定
- 工学研究科^{*2}に建築デザイン学コースを開設
- たちばな訪問看護ステーションを開設
- 新棟南館が完成

※1 2027年4月に国際英語学部国際英語学科から名称変更 ※2 仮称、2027年4月に情報学研究科から名称変更予定

EDUCATION

京都橘大学の教育

教学理念「自立・共生・臨床の知」

本学では、高い教養と専門分野の学びを通して、多角的な視点と主体的な判断力を養う「自立」、多様な文化や経済、価値観を理解・尊重し、対話を通して豊かな関係を築く「共生」、そして学内外のフィールドで得た知見を社会に還元しながら、実践のなかで知を磨き続ける「臨床の知」を育むことを教育の目標としています。

京都橘大学 学部・学科		京都橘大学 大学院 研究科
デジタルメディア学部	デジタルメディア学科	文学研究科
工学部	ロボティクス学科／情報工学科／建築デザイン学科	
文学部	日本語日本文学科／歴史学科／歴史遺産学科	現代ビジネス研究科
国際学部※1	国際学科※1	工学研究科※2
発達教育学部	児童教育学科	
総合心理学部	総合心理学科	看護学研究科
経済学部	経済学科	
経営学部	経営学科	健康科学研究科
看護学部	看護学科	
健康科学部	理学療法学科／作業療法学科／救急救命学科／臨床検査学科／臨床工学科	

※1 2027年4月に国際英語学部国際英語学科から名称変更 ※2 仮称、2027年4月情報学研究科から名称変更予定

京都橘大学 通信教育課程

デジタルメディア学部

総合心理学部

看護学コース

NEW!

「学びで世界を変える」情報・AI・医療の教育研究拠点

2026年4月、10学部18学科を擁する1拠点総合大学へ

デジタルメディア学部デジタルメディア学科(通学課程・通信教育課程)

日本が誇るゲームやアニメなど、メディアコンテンツを生み出すクリエイション技術と、CG、音響処理、AIなどのエンジニアリング技術を学びます。クリエイションとエンジニアリングを掛け合わせて学ぶことが本学科の特徴であり、次世代のコンテンツや新しいシステムを創造できる力を習得します。



工学部ロボティクス学科

世界有数のロボット生産国である日本の産業を支えるべく、機械工学、情報工学や先端のAI分野の知識・技術を身につけ、機械・ロボット・情報産業をはじめとした幅広い分野で活躍できる人材を育成します。「つくる」「動かす」「社会で活かす」をテーマに、ロボットの基盤技術から社会実装まで立体的に学びます。



健康科学部臨床工学科

京都府内の大学では初となる「臨床工学技士」養成課程を導入。少子高齢化や医療人材不足など、課題を多く抱える国内の医療現場を「医療×工学」の力で支えるべく、医療、AI、ICT分野の知識・技術を体系的に習得します。チーム医療を支える臨床工学技士、メディカルエンジニアを育成します。



工学研究科工学専攻博士前期課程※／博士後期課程※を2027年4月設置予定

本研究科では情報通信技術の高度な専門性とそれらを社会で活用・実践する力の双方を涵養するカリキュラムを展開し、社会・産業の課題解決等を先導する人材を養成します。

※仮称。2027年4月、情報学研究科情報学専攻から工学研究科工学専攻に名称変更予定。2027年4月に工学研究科工学専攻博士後期課程(仮称)を開設予定(設置構想中)。それに伴い、情報学研究科情報学専攻修士課程から工学研究科工学専攻博士前期課程に名称および課程の変更予定。計画は予定であり、変更する可能性があります。

EDUCATION AND SUPPORT

京都橘大学の教育・サポート

京都橘大学の教育の特長

01 教学理念〈自立〉〈共生〉〈臨床の知〉を軸に 好奇心の間口を広げる共通教育

京都橘大学で学ぶための基盤となる「たちばな Seeds」科目群に加え、「教養教育」「多文化交流」「キャリア形成」「スポーツ・健康」の5つの科目群を配置。教学理念〈自立〉〈共生〉〈臨床の知〉に対応する力を身につけ、自身および社会が直面する課題を他者とのかかわりの中で解決し、自らの力で人生を切り拓く人材を育成します。

共通教育ページ



全学部全学科が混ざり合って学ぶ 「たちばなBasis I・II」

文系・理系・医療系の10学部18学科が混ざり合い、学部・学科の垣根を越えて共に学び合う、全学科の1回生必修科目^(※)。多様なテーマを多角的な学問領域から考えることを通じて、本学の教学理念である「自立」「共生」「臨床の知」を学びます。また、本科目はオンライン授業と対面授業のハイブリッドで展開。オンライン授業で知識を習得し、対面授業では他学科の学生とディスカッションを行います。多様な考え方や価値観に触れることで、幅広い視野と柔軟な思考力を育みます。

※総合心理学部は2027年度より開始予定



「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」応用基礎レベル+(プラス) 関西私大唯一の認定校

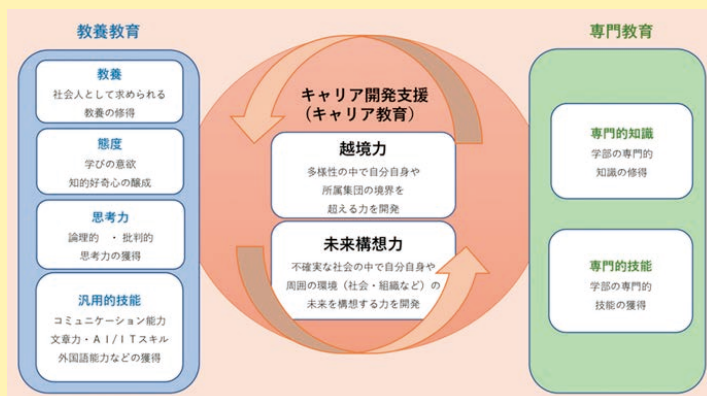
文理を問わず学生が主体的に学びを深められるよう、本学独自の「たちばな AI・データサイエンスプログラム」を展開しています。配当回生や習熟度に応じて柔軟に学べる構成が特徴で、2023年度にリテラシーレベルが認定されました。

さらに2025年度には応用基礎レベルの認定を受け、その中でも先導的で独自の工夫・特色を有するとして、応用基礎レベル+(プラス)に選定されています。私立大学では全国で4校、関西では本学が唯一です。



自律型キャリアの実現を目指す キャリア形成科目群

社会や自らの変化を楽しみながら、新しい時代に挑んでいける学生を育成するべく、これからの社会を生き抜くために必要となる能力や態度を涵養するカリキュラムを設けています。1回生前期からはじまるキャリアデザイン科目、オンキャンパスで実施するPBLや国内外での就業体験を伴う産学公連携科目を段階的に受講し「越境力」と「未来構想力」を育みます。2つの力の往還により、自律的にキャリアを描く力を身につけ人生を支える力につなげます。



02 クロスオーバー教育で 文理横断の「総合知」を育む

工学、人文、国際、教育、社会、看護医療系といった文理医の10学部18学科が1キャンパスに集結。学部の垣根を越えた交流と学びにより、幅広い考え方や価値観を育みます。

●「クロスオーバー型課題解決プロジェクト」

企業・自治体から提示された課題に対して、学部・学科を越えた学生がそれぞれの専門知を共有しながら課題解決に取り組み、プレゼンテーションを行うプロジェクト型授業。授業を通して自身が日々学ぶ専門性への関心を一層向上させ、専門的能力を深め、卒業後のキャリアを描く“ヒント”を見つけます。

- 他学部の科目から自身の学びに活かせるクロスオーバー科目を履修し、専門性+αの力を身につけます。

03 伝統の少人数教育による きめ細やかな指導

学生1人ひとりとしっかりと向き合えるよう、学生数7,288名に対し279名の専任教員が在籍(2026年5月1日現在)。専任教員1人あたりの学生数は約26名で、ゼミでは徹底した少人数指導を行っています。

- 教員1人あたりの学生数約26名
- クラスアドバイザー制により4年間通じてきめ細やかな指導体制
- クラス担当と就職進路課との連携によるキャリアサポートも

04 先進的なメディア授業と 拡がる国際ネットワーク

通信教育課程との連携により、ICTを活用した先進的な教育を展開し、学習効果の高い学びを実現しています。さらに、世界各国・地域とのネットワークを拡充し、多彩な海外留学プログラムや留学生の受け入れを積極的に進めています。

05 多職種で学ぶ 「チーム医療」

看護、理学療法、作業療法、救急救命、臨床検査、臨床工学の6学科が連携して学ぶ「たちばなチーム医療科目群」。

医療現場で欠かせない専門職同士の連携やチームワークを実践的に学びます。特に「IPW (InterProfessional Work) 演習I・II」では、異なる専門分野の学生同士が意見を交わしながら、チーム医療のあり方を深く学びます。こうした学びを通じて、患者さんに最適なケアを提供するための実践力や、協力して課題を解決するスキルを身につけます。



進路・就職サポート

キャリアアドバイザーによる個別相談、地方自治体との連携やU・I・Jターン就職支援、多彩なキャリアガイダンス・就職対策講座のほか、社会で活躍する講師による講演会などを実施。夢の実現に向けて主体的に行動できるよう、様々なサポートを用意しています。

キャリアガイダンス春・夏・秋・冬

3回生を対象として就職活動に重要な情報を時期ごとに配信。大手ナビサイトへの登録方法から、自己分析、企業研究、選考対策までを幅広くレクチャーしています。

社会人スキル養成講座

入社後の早期活躍を目指し、100分間×全8回の充実したプログラムで社会人マインド、対人スキル、仕事の基本動作などの社会人として求められるスキルを学びます。

医療系学科別 就職対策講座

職種ごとに就職活動のルールやスケジュール、対策方法が異なる医療系学科に対して、学科別に履歴書の書き方や面接対策についてのガイダンスや学内合同説明会を実施しています。

奨学金制度

学生の学びと成長を支援する多彩な奨学金制度を設けています。

- 本学独自の奨学金制度(S特待生制度、特待生制度、たちばな超AI時代特待生制度、共通テスト受験奨励奨学金、つながるたちばな修学支援給付奨学金、経済援助給付奨学金、緊急就学援助奨学金、京都橘ITOH奨学金、看護学部貸与奨学金、留学先授業料支援制度など)
- 協定に基づく奨学金制度(京都第二赤十字病院特別奨学金)
- 公的奨学金制度(高等教育の修学支援新制度、日本学生支援機構貸与奨学金、病院貸与奨学金など)

CAMPUS

京都橘大学のキャンパス・施設・設備

自然と調和し、多様な交流を生み出す 情報・AI・医療のオープンイノベーション拠点 「アカデミックテラス」誕生

デジタルメディア学部、工学部ロボティクス学科、健康科学部臨床工学科の開設にあわせて、教育・研究・社会連携拠点となる「アカデミックテラス」が誕生。先端的なテクノロジーと社会共創で生み出すユニークなプロジェクトが始動します。



The Factory

3Dプリンターやレーザーカッターなどの最新設備の他、ボール盤やフライス盤といったものづくりの基本となる工作機械を整備している。



手術シミュレーションルーム

関西の臨床工学技士養成校では初となるVR血管内シミュレータ「Mentice VIST G7」や高度医療機器を導入。先端的な環境で学ぶことができる。



医療機器管理ルーム

透析ベッド4床、ICUベッド2床を配置し、集中治療室(ICU)の環境を再現。生命維持管理装置を中心とした高度医療機器の運用・管理を、実際の臨床現場を想定した環境で学ぶ。

Sky Terrace

8階のスカイテラスからは、東山や比叡山を一望できます。Commons∞thと連続し一体での利用ができることも大きな魅力。日常とは少し違う、開放感あふれる景色を楽しめる場所。



commons

3階から8階まで各階にcommonsを設置。少人数から多人数まで、学生が集い学び合う環境が充実。

Renewal
Open!

キャリアセンターをリニューアル！ 対話のしやすさを重視した空間に

アカデミックテラス 2階にキャリアセンターがリニューアルオープンしました。学生がこれまで以上に立ち寄りやすく、就職や進学などの進路について対話のしやすい空間となっています。キャリアに関する専門の資格をもつスタッフをはじめ、進路支援を担当する専門スタッフが常駐し、1回生から各種進路・就職サポートをしています。



キャンパスの食環境が充実！



「テラスダイニングcommons」の新設をはじめ、「TACHIBAL」のリニューアル、生協食堂の営業時間拡大、豊富な焼き立てパン、多彩なキッチンカーなど、学生の多様なライフスタイルによりその食環境が充実しています。

CLUB & CIRCLE

京都橘大学の課外活動

クラブ・サークル
紹介デジタル
パンフレット



公式サイト
にて公開中



※ 団体数は
2026年6月時点

2026年度は、体育系・文化系あわせて59のクラブ・サークルが活動しています。スポーツや音楽、伝統文化、地域交流など、多彩な分野で学生一人ひとりが主体的にチャレンジできる環境が整っています。課外活動を通して、仲間と切磋琢磨しながら目標に挑戦する経験は自ら考え行動する力を養い、充実した大学生生活と豊かな学生文化を創り上げています。

体育系

27 団体

文化系

32 団体

強化クラブ

強化クラブについては、高校時代に優れた実績をおさめた人を対象にした学校推薦 型選抜〔特技推薦・スポーツ文化部門〕を実施しています。



● 女子バレーボール部
インドア部門



● 女子バレーボール部
ビーチバレーボール部門



● 弓道部



● サッカー部



● 吹奏楽部



● 陸上競技部〈女子短距離系〉

TOPICS 01

弓道部：男子団体が2年連続リーグ戦全勝優勝で全国の舞台へ

本学弓道部男子団体は、令和7年度男子1部リーグ戦において、全勝で優勝を果たしました。これにより、2年連続3回目となる「全日本学生弓道王座決定戦」への出場を決定。全国の頂点を目指して挑んだ王座決定戦では惜しくも初戦敗退となりましたが、関西王者として全国の舞台に立つ経験を積みました。個人でも、長繁涼平さん(工学部情報工学科：4回生)がリーグ戦的中率で関西十傑3位に入り、東西学生弓道選抜対抗試合に出場。団体・個人の両面で、弓道部の確かな実力を示す一年となりました。

TOPICS 02

陸上競技部〈女子短距離系〉：高宮ひかりさんが西日本インカレで第2位

陸上競技部〈女子短距離系〉の高宮ひかりさん(スポーツ経営学専攻・2回生)が、2025年9月12日(金)～14日(日)にたけびしスタジアム京都で開催された「第78回西日本学生陸上競技対校選手権大会」に出場し、女子走り幅跳びで第2位に入賞しました。高宮さんは、5月の関西インカレで創部初となる優勝を果たしており、今大会でも上位入賞を果たすなど安定した実力を発揮。陸上競技部に新たな勢いをもたらす存在として、今後さらなる活躍が期待されます。

チャレンジクラブ

強化クラブに準ずる活動をしているチャレンジクラブ。公募制により現在は3X3部、京炎そでふれ！部、競技麻雀部が活動しています。



● 京炎そでふれ！部



● 3×3部



● 競技麻雀部

TOPICS 03

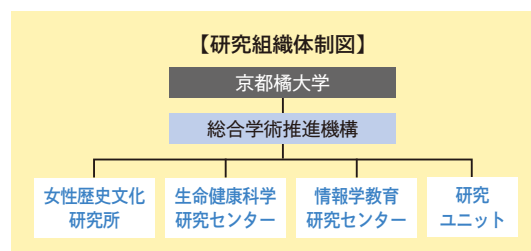
競技麻雀部：サークルからチャレンジクラブへ昇格

競技麻雀部は、2026年度より課外活動サークルからチャレンジクラブへ昇格し、新たな挑戦をスタートしました。約60名の部員が所属し、競技としての技術向上を目指すとともに、麻雀を通じた地域交流にも取り組んでいます。学生麻雀連盟主催の全国大会「学生雀杯東場」では、部員が参加者約400人の中でベスト16に進出。さらに、地域の高齢者施設を訪問し、麻雀を通じて世代を超えた交流の場づくりにも挑戦しています。「好き」を本気の活動へと発展させ、競技・地域貢献の両面から活動の幅を広げています。

RESEARCH PROMOTION

京都橘大学の研究推進

1967年の開学から今日に至るまで、研究のグローバル展開や産学官連携活動を推進する一方で、大学院の充実やリエゾンオフィスの設置など研究推進と支援のための組織づくりも強化してきました。また、研究推進組織として総合学術推進機構を設置し、そのもとに3つの研究所・研究センターを設置するとともに、本学の教学理念や学問・研究分野の特徴を活かして設定した4つの重点研究分野それぞれに分野横断的な探索を行う研究ユニットを置き、研究者の知的好奇心・探究心を大切に、既存の学問の枠に留まらない独創的かつ先端的な研究が生みだされる自由闊達な環境を整備し、学際的な研究へと発展させています。



01 | 研究組織

研究所・研究センター

女性歴史文化研究所

女性史を中心に据えた西日本初の研究機関として1992年に開設。女性の歴史・文化に関する総合的研究を行い、両性の視点から解明するとともに人類の文化の発展に寄与することを目的としています。また、「女性」という視点から歴史を見つめ直すことで、歴史の空白部分を埋め、歴史学全体に深みと広がりをもたせることも大きな使命としています。

- ジェンダーの構造を考える
～国際比較による専門職(看護職)におけるジェンダーの構造に関する課題の明確化～
- 近代における女性と教育

生命健康科学研究センター

生命健康科学研究センターは、京都橘大学における健康科学に関する先進的な共同研究の推進および臨床検査学、細胞診断学の教育研究に資する事業の展開を目的として2019年に開設しました。

- 子宮体癌幹細胞の形態学的・分子生物学的解析とその除去法
- 子宮頸がん検診のためのAIによる3D細胞画像診断装置の開発
- iPS細胞由来未分化細胞除去法の確立
- 癌幹細胞の効率的分取法の開発
- 慢性疼痛(特に神経因性疼痛)を軽減する治療薬の研究～新規疼痛抑制物質の探索～
- 高齢ラットと若齢ラットにおける鎮痛薬の効果の比較～慢性疼痛診断に有用な新規臨床検査法の開発～
- 炎症性腸疾患の病態把握に有用な新規バイオマーカーの樹立
- がん細胞における薬剤耐性の獲得に関する研究

情報学教育研究センター

情報学教育研究センターは、企業および研究機関等との連携を通じて情報学に関する先進的な研究成果を創出・社会還元するとともに、学内外への情報学教育の実施等により、情報化社会のさらなる発展に貢献することを目的として2023年に開設しました。その目的のひとつである「学内外への情報学教育の実施」の一環として、11科目(各科目10回×55分)で構成される『情報学リスクリング講座』(文部科学省「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」に採択)を開発し、オンデマンド教材として広く社会に提供しています。(15ページ参照)

研究ユニット

本学の教学理念や学問・研究分野の特徴を活かし、2023年度から4つの重点研究分野を設定しています。2026年度時点では、11の研究ユニットが活動を展開しており、各重点研究分野における中心的存在となる学際的な研究の推進が期待されています。

研究ユニット



01 医療と情報技術・データサイエンス

超高齢社会にある日本において健康寿命を延伸し活力ある社会の創出をめざし、情報技術・データサイエンスを活用した医療システムやそれを支える技術、さらにそうした技術や医療システムを社会の中で活用するためのビジネスモデルや公共政策のあり方を対象とする研究領域です。

02 持続可能な共生社会～京都再生を中心として～

SDGsが注目されているように、持続可能な社会を実現していくことは人類共通の課題です。このような持続可能な共生社会について、とくに京都に焦点をあてて、人文科学、社会科学、自然科学のあらゆる領域から総合的にアプローチする研究領域です。

03 こころとからだ

こころとからだの関係は未だ十分な解明がなされていない領域ですが、この領域に心理学、生命健康科学を中心にアプローチする研究領域です。その研究成果は、医療や教育だけでなく行動経済学や工学の領域などへの応用も期待されます。

04 女性の歴史を学び、女性の未来を考える

これまで女性歴史文化研究所ですすめられてきた研究をベースに、さまざまな学部教員で「女性の歴史を学び、女性の未来を考える」研究を推進することで、社会のジェンダー平等につながる本学らしい取り組みの推進が期待される研究領域です。

TOPICS 文部科学省「大学・高専機能強化支援事業(支援2)」に採択

文部科学省「大学・高専機能強化支援事業(支援2:高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)」に「情報学系研究科の充実および、地域社会と連携した健康・行動データの収集・活用による情報教育研究の推進」事業が採択されました。本学はこの採択を受け、地域社会と連携し、健康・行動データを活用した研究活動を5領域で推進します。

- (1) ウェルビーイング研究
【キーワード: 見守り、健康促進、フレイル予防】
- (2) スポーツ選手育成研究【キーワード: 低酸素環境×データ解析】
- (3) 学生見守りアプリの開発研究
【キーワード: 早期兆候把握、行動変容支援】
- (4) 情報セキュリティ研究【キーワード: データ社会の基盤を支える】
- (5) ロボティクス研究
【キーワード: AI×対話×動作の統合】

▶ 教員プロフィールと研究シーズ集

本学に在籍する教員の研究業績等がわかる「教員プロフィール」と、それぞれの教員が現在取り組んでいる研究テーマ等を解説する「研究シーズ集」。いずれも本学のホームページにて公開しています。

教員
プロフィール



研究シーズ集



社会課題を解決する多彩なプロジェクト

本学が設置する研究所・研究センターや研究ユニットに関する研究活動のほか、新たな学科設置により、今後さらなる発展が見込まれる医工連携研究や企業等との共同研究での活用に特化した活動スペースとして、新棟「アカデミックテラス」にプロジェクトルームを整備しています。

01 脳科学×産学連携：皮膚ガスによる心の可視化

代表者：健康科学部 理学療法学科 兒玉 隆之 教授

脳科学を主軸に心の状態を解明する産学連携プロジェクトです。安静時脳波の解析を基盤に、新規指標「皮膚ガス」の有用性を検証。日常で簡単にメンタルヘルス不調を早期予測できる社会の実現を目指します。

02 デジタル・ウェルビーイング研究プロジェクト

代表者：総合心理学部 総合心理学科 大久保 千恵 教授

デジタルゲームが心身に及ぼす影響を、「心理学」、「生化学」、「脳科学」、「情報工学」の側面から同時計測・統合解析し、ゲームがもたらす「デジタル・ウェルビーイング」の効果を実証することを目的としています。

03 健康・行動情報収集・活用による情報研究

代表者：工学部 情報工学科 東野 輝夫 教授

学生や住民の健康行動データの蓄積やデータ活用などウェルビーイング関連データの収集を通して、社会還元や企業等との共同研究、地域との連携・イノベーションの創出を目指しています。

04 脳科学×医工連携で挑む機能回復限界突破プロジェクト

代表者：健康科学部 理学療法学科 中野 英樹 准教授

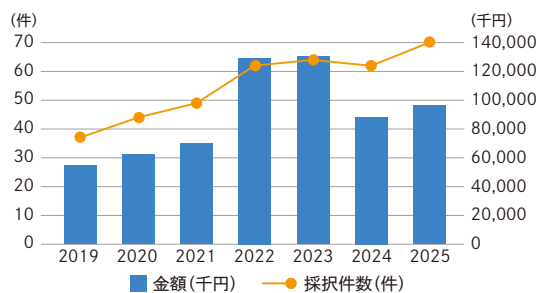
脳科学(脳機能計測・解析)、工学(外骨格ロボット・センシング)、リハビリテーション科学(臨床評価・介入)を融合し、脳卒中後の運動機能回復を最大限に引き出す革新的リハビリテーション手法の開発に向けた研究基盤(プラットフォーム)の形成を目指しています。

02 | 研究費

科学研究費助成事業(科研費)

科研費は、人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする「競争的研究費」です。

本学における科研費採択状況



2025年度採択件数(京都市内4年制大学)

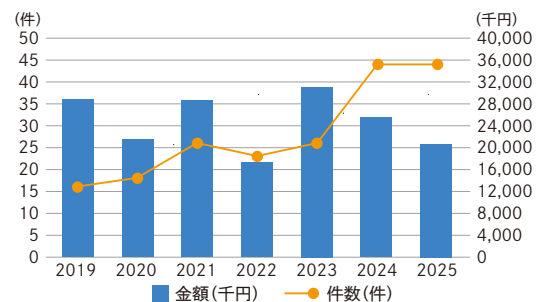
※ 採択件数は新規+継続 ※ ()は2025年度の新規採択率 ※ 上位32大学を掲載

大学名	採択件数*	大学名	採択件数*
1 京都大学	2,813 (37.3%)	6 京都産業大学	139 (25.8%)
2 立命館大学	652 (24.7%)	7 龍谷大学	125 (27.5%)
3 同志社大学	356 (30.0%)	8 京都府立大学	70 (14.5%)
4 京都府立医科大学	300 (32.2%)	9 京都橘大学	70 (34.8%)
5 京都工芸繊維大学	151 (24.2%)	10 京都先端科学大学	68 (25.5%)
11 京都女子大学	59	19 京都光華女子大学	17
12 佛教大学	56	20 京都外国語大学	16
13 京都教育大学	52	21 花園大学	15
14 京都薬科大学	46	22 京都文教大学	11
15 同志社女子大学	44	23 京都ノートルダム女子大学	10
16 大谷大学	28	24 明治国際医療大学	7
17 京都市立芸術大学	20	25 京都医療科学大学	6
18 京都芸術大学	20	26 京都精華大学	5
		27 京都美術工芸大学	4
		28 京都情報大学院大学	3
		29 京都華頂大学	3
		30 京都看護大学	3
		31 平安女学院大学	2
		32 嵯峨美術大学	2

日本学術振興会 公表資料より

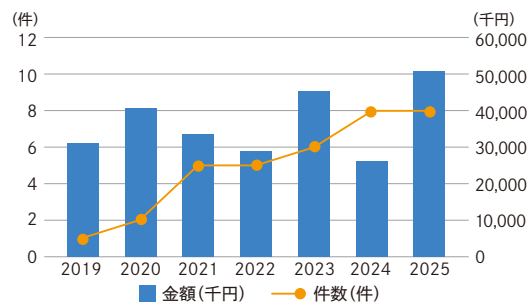
外部からの研究資金

奨学寄附金・受託研究・学外共同研究等の受入れ・獲得状況



※財団法人・民間企業等からの研究助成金、企業等との共同研究費・受託研究費、研究の奨励を目的とした企業や個人からの寄附金(奨学寄附金)を合計しています。

省庁など公的機関の委託研究事業等への採択状況



※国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) CREST・OPERA・SICORP、文部科学省 Society 5.0 実現化研究拠点支援事業、厚生労働省科研費等の採択額を合計しています。

SOCIAL COLLABORATION

京都橘大学の社会連携活動

教学理念である「臨床の知」を「臨床＝現場＝地域」と位置づけ、地域から学び、地域と共生する教育研究や社会連携活動を推進しています。大学と地域をつなぐ窓口として「地域連携センター」を設置し、様々な活動を行っています。

学まちチャレンジ！プロジェクト

京都市「学まち連携大学」促進事業(2020～2023年度)に採択された取り組みの一つとして、学生の主体的な地域連携活動に対し助成を行ってきました。「学まち連携大学」促進事業の終了後も、本プロジェクトを継続して実施しています。学生の地域社会における多様な学びを支援し、自主性・企画力・課題解決能力などを培い、その活動をもって、地域貢献や大学活性化、学生文化の向上につなげています。

※2026年度は自由テーマ型7団体、テーマ設定型4団体が活動。

自由テーマ型(2025年度実績)

- | | |
|--|--|
| <p>01 命の大切さを知ろう！
(チーム名：にじいろスマイル隊)</p> <p>02 持続可能な商店街の地域活性化
(チーム名：Team Effectors)</p> <p>03 #良い関係ってどんな関係？
～みんなで話そう、
自分も相手も大切にできるヒント～
(チーム名：ピアカウンセリングサークル)</p> <p>04 楽しくしっかり学ぼう！
(チーム名：OSJ橘)</p> <p>05 アフリカン★デジタルラボ
～音楽とゲームで遊んで学ぼう！～
(チーム名：アフリカンキッズサポーターズ)</p> | <p>06 山科のお祭りを盛り上げたい
(チーム名：京炎そでふれ！部 Tacchi)</p> <p>07 山科「ふるさと会」と連携した
山科の歴史遺産魅力発掘プロジェクト
(チーム名：
考古学研究室山科遺跡魅力発掘チーム)</p> <p>08 おとでつながる！
こども音楽体験プロジェクト
(チーム名：吹奏楽部)</p> <p>09 10時だよ！全員集合！伸ばそう健康寿命
(チーム名：Smile)</p> <p>10 備えようその瞬間
(チーム名：防災サークルFAST)</p> |
|--|--|



テーマ設定型(2025年度実績)

- 01 地域交流拠点を活用したふれあい健康イベント
(連携先：コミュニティ・バンク京信 山科支店)
- 02 中高生年代の居場所
「ゆうすべすやましな」の活用促進
(連携先：山科区役所)
- 03 醍醐地域における
子ども・子育て層が住みやすいまちづくり
(連携先：醍醐いきいき市民活動センター)



学生団体「まちづくり研究会」

京都・山科地域活性化の活動をおこなう学生団体。現在は、約30名の学生が所属しており、「陶灯路」(京焼・清水焼の陶器にろうそくの火を灯しライトアップするイベント)や地域のこども食堂活動の支援などさまざまな地域連携・貢献活動を実施しています。



学生団体「OSJ橘」

書道を専攻する学生を中心とした団体で、O: おもしろい、S: しっかり学べる、J: 字がうまくなるの頭文字を取っています。筆を持つ機会が減っている現状を受け、書道の魅力を地域に広く届けることを目的に書道教室やワークショップ、パフォーマンス等を地域に根差して精力的に行っています。



たちばなこども食堂

世代や立場を超えたコミュニティ創出を目的に、2022年度から実施している取り組みです。食事の提供だけでなく学生団体による体験イベントも同時に開催しています。山科地域のこども食堂等や山科青少年活動センターと協力し、参加者に山科地域のこども食堂を紹介する活動も行っています。



たちばなサイエンスデー

「大学の研究にふれてみよう」をテーマに、各学科や学生団体がブースを設置し、小学1年生から6年生を対象に趣向を凝らした内容でさまざまな体験やものづくりを実施します。2021年度から開催し、毎回多くの児童が参加する地域に根付いたイベントとなっています。





協定締結団体(自治体・企業等)一覧(2012～2026年7月現在)※五十音順

【自治体】

- 京都市
- 京都市山科区
- 京都府与謝野町
- 滋賀県大津市
- 滋賀県草津市
- 滋賀県守山市
- 滋賀県野洲市
- 福井県小浜市
- 和歌山県
- 和歌山県那智勝浦町

【大学】

- 大阪大学データビリティフロンティア機構
- 学校法人昭和大学
- 北見工業大学
- 京都芸術大学
- 京都薬科大学
- 公立はこだて未来大学
- 国立大学法人滋賀大学
- 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学
- 信州大学
- 電気通信大学
- 北海道大学

【企業・団体等】

- イオンタウン株式会社
- 医療法人栄仁会
- 医療法人社団洛和会
- 大津市老人クラブ連合会
- 株式会社ビバ
- 株式会社未来シェア
- 株式会社ルネサンス
- 公益社団法人
京都市児童館学童連盟
- 日本赤十字社
京都第二赤十字病院
- 京都府山科警察署
- 公益財団法人
滋賀県文化財保護協会
- 公益財団法人
京都市音楽芸術文化振興財団(京都市東部文化会館)
- 社会福祉法人大宅福祉会
(おおやけこども園)
- 社会福祉法人京都博愛会
(京都博愛会病院)
- 全国認定こども園協会京
都府支部
- 醍醐中山団地町内連合会
- 日本電気株式会社(NEC)

生涯学習

大学で取り組んでいる教育・研究成果を公開し、生涯教育の場を提供することを目的として、
各種の公開講演会などを実施しています。

たちばな教養学校 Ukon

詳しくは
こちら

2023年春「生きる」をもっと深く味わうための新しい学びのプロジェクト「たちばな教養学校 Ukon」が開講しました。学頭に河野通和氏(編集者・読書案内人・本学客員教授)をお迎えし、自然や生命のなりたち、社会のあり方、私たちの生き方を問いながら、「ともに学ぶ」を通して、自他の関係を見直し、「ケア」の精神に生かされた寛容な社会をめざします。



たちばな教養学校
Ukon特設サイト

情報学リスキリング講座

詳しくは
こちら

AIの発展とそれらを駆使したDX(デジタルトランスフォーメーション)が注目される現代社会。メール、プレゼンテーション等のソフトウェアが使えるだけでは先端的な情報技術の活用やDXの推進を十分に検討することはできません。これからの情報化社会をリードするには情報学の体系的な学習が不可欠です。情報学教育の一環として、11科目で構成される講座を提供しています。



情報学
リスキリング講座
申込サイト

リカレント講座

社会人を対象に大学の専門分野である看護医療や保育教育などの講座を展開しています。

2026年度開講の講座

- 「看護の力」でミライを創る。
—看護師の「やってみたい」が
社会を変える—

など

EDUCATION

京都橘中学校・高等学校の教育

中学校

Vコース(国公立大学進学中高一貫コース)

Vαクラス

Vクラス

高等学校

選抜類型

総合類型

教育理念「自立・共生」

創立者の建学精神を受け継ぎながら、現在、「自立・共生」を教育理念として常に新たな教育課題に挑戦し続けています。京都橘は、一人ひとりの個性を最大限に伸ばさせ、先行き不透明な未来をたくましく切り拓き、社会に貢献できる人間性豊かな人材を育成しています。

文武不岐の進学校を目指して

学習と課外活動の双方に真摯に取り組む校風のもと、生徒一人ひとりの可能性を伸ばす教育を実践しています。探究学習やグローバル教育などの多様な学びを通して主体性を育むとともに、独自の進路実現サポートシステム「ASTM」により高い進路目標の実現を支援しています。生徒や教職員がワクワクする希望を持ちながらチャレンジ精神を育める教育を展開しています。



京都橘独自の学習スタイルで、生徒の進路を実現

生活や学習環境、目的設定からその実現へのプロセスなどについて、教職員が一丸となってサポートする「橘メソッド」で、生徒の夢や望む進路の実現を後押ししています。2026年度大学入試では、京都大、大阪大、神戸大など国公立大に57名合格、私立大へは1,925名が合格しました。関関同立へは140名、産近龍へは281名と関西圏の私立大学はもちろんのこと、早慶MARCHや医学部医学科など幅広い進路を実現しています。



2026年 新棟南館完成！

生徒一人ひとりの成長を促す教育環境の拡充に向けて、新しい学び舎が完成しました。



生徒全員を、本当に行きたい第一志望校へ

国公立大学

57 名
合格

関関同立

140 名
合格

産近龍

281 名
合格

早慶MARCH

13 名
合格

中高HP



ブログ「橘の風」



中高
Instagram



CLUB ACTIVITIES

京都橘中学校・高等学校のクラブ活動

クラブ活動で輝く橘生！ 全国の舞台でも活躍

陸上競技部・男子サッカー部・吹奏楽部・女子バレーボール部など、多くのクラブが日々の鍛錬の成果を発揮し、全国の舞台で活躍しています。競技や演奏に真摯に向き合い、仲間とともに努力を重ねる姿は、京都橘中学校・高等学校の活気と向上心を象徴するものです。それぞれの分野で高い目標に挑み続ける橘生たちのまっすぐな歩みが、大きな成果へとつながっています。



陸上競技部



- インターハイ 18大会連続 25回出場
- 2025インターハイでは、女子4×400mリレーで第2位、女子4×100mリレーで第6位

男子サッカー部



- 全国高等学校サッカー選手権大会 3年連続 12回出場
- インターハイ 6回出場
- Jリーガー 17名輩出

吹奏楽部



- 全日本マーチングコンテスト 5年連続金賞
- 台湾遠征で台湾中を魅了(2022・2023・2025年度)
- 全国各地での公演やメディアへの出演も多数

女子バレーボール部



- インターハイ 29回
- 春の高校バレー 5年連続 28回出場
- 卒業生が日本代表でも活躍

EDUCATION

たちばな大路こども園の教育・保育

教育・保育理念「**自立・共生**」

本園は「幼保連携型 認定こども園」として、保護者の就労に関わらず、就学前の教育・保育を一貫して提供する施設です。また、幼稚園や保育所、認定こども園に通っていない場合でも、子育て相談や親子の集いの場の提供など、地域の子育ての支援を行っています。

※認可幼稚園と認可保育園の認可基準を満たし、学校及び児童福祉施設としての法的位置付けを持つ単一の施設です。

教育・保育目標

心身ともに健やかな子ども

01

元気な子ども

02

自分で考え
行動する子ども

03

思いやりのある子ども

04

素直に表現する
子ども

教育・保育の特色



自然、あそび、仲間を大切にした教育・保育での

さまざまな生活・経験を通して「生きる力」の土台をつくります。

0歳児から就学前までの人生の土台を形成する最も大切な時期に、子どもたちには自分自身をかけがえのない存在として肯定する心と仲間たちをかけがえのない存在として認める心を育ててほしいと考えています。保護者の皆様と地域、教職員がつながり、子どもたちの成長を心から喜び合える「笑顔あふれるこども園」づくりをしていきます。

ACTIVITIES

たちばな大路こども園の特色ある取り組み

01



乳児保育

育児担当制

子どもたちの第二の家庭としての大切な役割を担っています。初めて家庭以外の世界を経験していく子どもたちを育児担当制で愛情を持って育てていきます。どの子どもにも拠り所があり、大切に見守られる中で安心して遊び、『大切にされている』『安心して何でもできる』という自己肯定感を育てていきます。そんな居場所になれるよう日々保育を進めています。

02



幼児教育

自立・共生

教育・保育理念でもある“自立”と“共生”を大切に教育・保育を行っています。自然豊かなみどりの広い園庭や、果樹園・菜園には子どもたちの好奇心を刺激するものがいっぱいです。子どもが自分で発見したり考えたりつくり出したりする経験を大切に、保育者は見守り寄り添いながら時には仲間として時には先生として子どもの意欲を育てていきます。

03



子育て支援

地域に開かれた子育て支援

地域におられる未就園児や保護者を対象とした園庭開放やベビーマッサージなどの子育て事業を月4～5回程度実施しており、合わせて未就園児の一時預かり保育事業を週3～4日実施しています。「地域とつながる子育て支援を」を合言葉にYouTubeチャンネルを開設。中には6万回の再生回数を超える人気コンテンツとなっています。たんぼぼんとひだまりんのキャラクターも定着してきました。

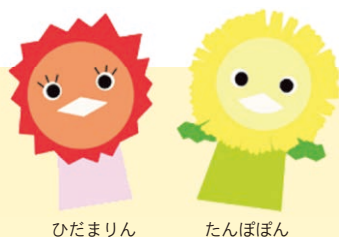
04



地域連携・学園内連携

地域に根ざした園活動

開園当初より地域の高齢者の団体である小汐井シニアーズに来ていただき、伝統あそびを教えていただいたり、園のおもちつきのお手伝いをさせていただいたりしています。学園内連携では高校太鼓部との交流や大学サッカーグラウンドに幼児が招待され、広大なグラウンドで強化系クラブの大学生と交流しながら運動を楽しみました。2026年度は大学の正課科目とも連携を行い、子どもたちがより多くの体験をできる企画を進めています。子どもたちの周りのいろいろな人々との触れ合いを大切にしています。



たちばな大路こども園 Youtube チャンネル

たちばな大路こども園の公式チャンネルです。
園児たちの日常や子育て支援の内容を発信していきます。



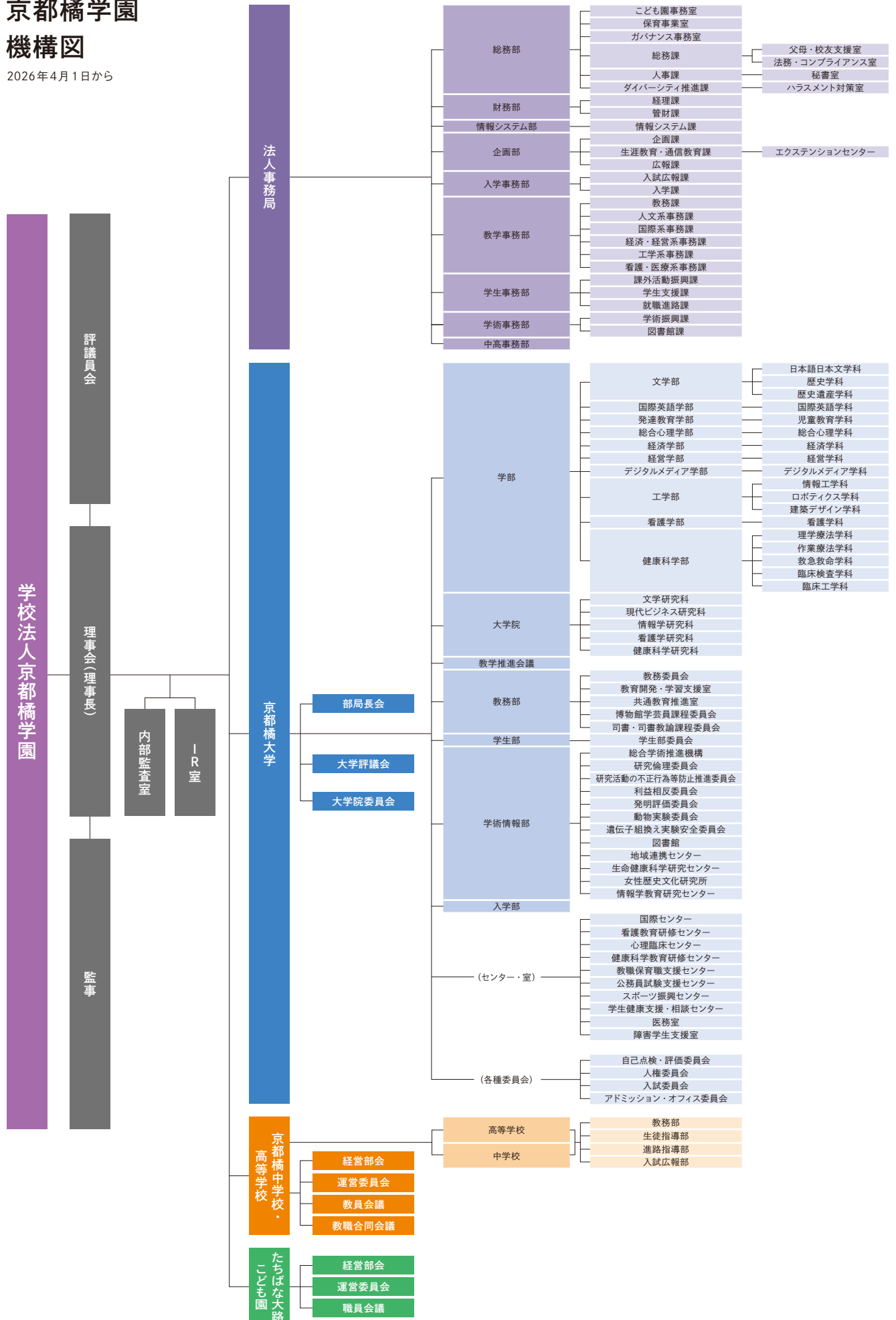
YouTubeへ
移動します

MECHANISM DIAGRAM

京都橘学園

機構図

2026年4月1日から



TOPICS

京都橘学園のトピックス

京都橘大学 淳芳会

京都橘大学 淳芳会は、卒業生全員が加入する同窓会で、第1期生が卒業した1971年に設立されました。現在では、27,000名を超える会員数となっています。会員相互の親睦をはかり、また京都橘大学の教育・研究活動を支援することを目的としています。

詳しくは
こちら



京都橘大学 父母の会

京都橘大学父母の会は、「大学と家庭との連絡を緊密にして教育の効果をあげ、大学の発展に寄与すること」を目的としています。父母の会の行う様々な事業を通じて、大学の現状や教育方針をご理解いただき、大学生活がより豊かになるようご協力をいただいています。

父母の会
活動紹介動画
配信中！



UICK Radio

毎月第1・第2水曜日にFM-KYOTO「α-STATION」で京都橘大学のラジオ番組「UICKRadio」が放送中です。DJの前田彩名さんが毎回、教員や学生をゲストに迎え、子どもから大人まで、「明日誰かに伝えたいくなるワクワクするお話」をお届けしています。

YouTube
にて公開中



「UICKRadio」
過去の放送回

京都橘学園 基金サイト 「たちばなGIFT」

2027年、京都橘学園は創立125周年を迎えます。これからも、教育を通じて新しい価値を創造し、学生、生徒、園児一人ひとりの可能性を広げるとともに、より良い社会の発展に寄与していけるよう、歩みを続けます。皆さまの温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

詳しくは
こちら



学園創立125周年
特設サイト

たちばな訪問看護ステーション

学校法人京都橘学園は、地域医療への貢献を目的に一般社団法人京都橘を設立し、2026年7月、京都橘大学内に「たちばな訪問看護ステーション」を開設しました。本ステーションでは、訪問看護の提供に加え、大学の教育・研究と連動した取り組みを展開します。利用者一人ひとりの生活によりそった支援を行うことで、地域における生活の質の向上に寄与することを目指します。

詳しくは
こちら



訪問看護
ステーション
ご案内サイト

京都橘大学 2026年コンセプトサイト 「全方位、可能性。」

京都橘大学は2026年、デジタルメディア学部、工学部ロボティクス学科、健康科学部臨床工学科を開設し、10学部18学科を擁する総合大学となりました。多様な学びが交差するこのキャンパスでは、新しい知識や異なる価値観との出会いにより、学生一人ひとりの可能性が全方位に広がっています。挑戦する学生たちのエピソードがつまった2026年コンセプトサイト「全方位、可能性。」を公開しています。

詳しくは
こちら



2026年
コンセプトサイト

KYOTO TACHIBANA FACT BOOK



変化を楽しむ人であれ

学校法人京都橘学園

京 都 橘 大 学

デジタルメディア学部 工学部 文学部 国際学部^{※1} 発達教育学部
総合心理学部 経済学部 経営学部 看護学部 健康科学部

大学院

文学研究科 現代ビジネス研究科 工学研究科^{※2} 看護学研究科 健康科学研究科

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34 TEL.075-571-1111 FAX.075-574-4122

※1 2027年4月に国際英語学部国際英語学科から名称変更
※2 仮称、2027年4月情報学研究科から名称変更予定

京 都 橘 高 等 学 校

選抜類型 総合類型

京 都 橘 中 学 校

国立大学進学中高一貫(V)コース

〒612-8026 京都市伏見区桃山町伊賀50 TEL.075-623-0066 FAX.075-623-0070

たちばな大路こども園

〒525-0032 滋賀県草津市大路2丁目1番55号 TEL.077-516-0180 FAX.077-516-0181

京都橘学園の
各校ウェブサイト

京都橘大学



京都橘
中学校・高等学校



たちばな大路
こども園

